

## 2. 人口の将来展望

### (1) 各パターンによる将来推計人口

令和6（2024）年6月に内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局から提供された“将来人口推計のためのワークシート（令和6年6月版）”を用いて、第3章の1における今後の基本的視点や目指すべき将来の方向を踏まえ、国や静岡県の長期ビジョンを勘案した、将来推計を行い、目標年次である令和42（2060）年までの人口展望を整理します。

#### 【社人研準拠 】

条件:社人研の「日本の地域別将来人口（2023（R5）年推計）」に準拠

令和42（2060）年 10,446 人

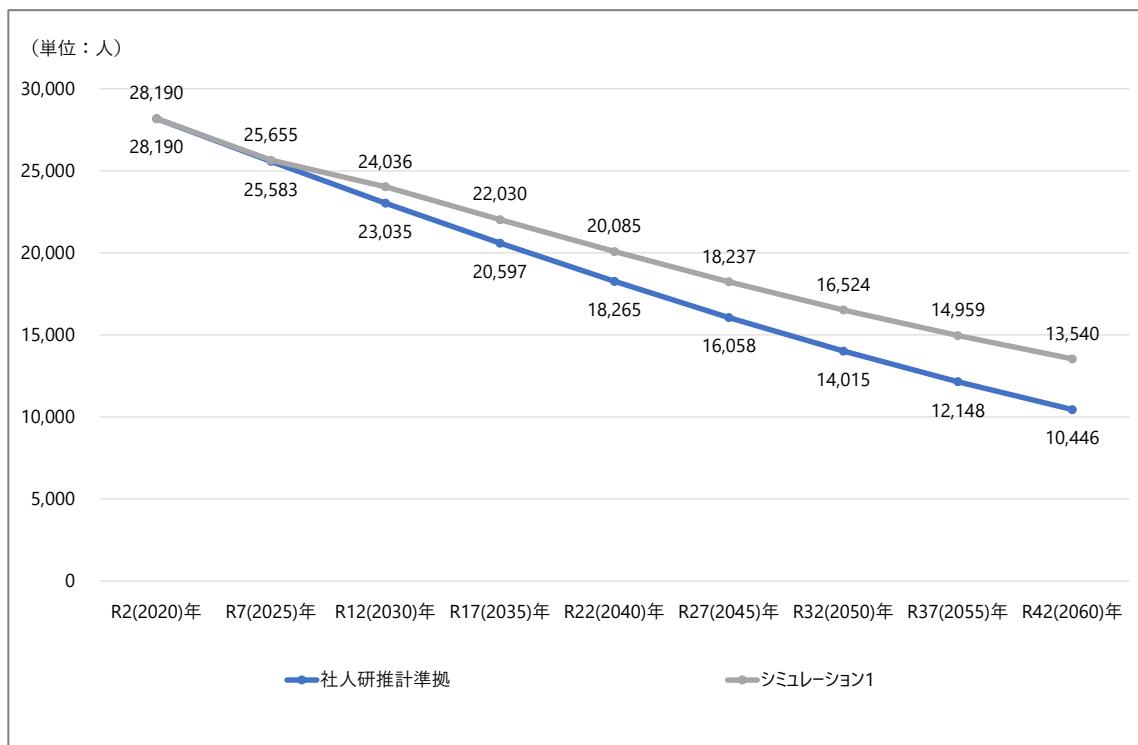
令和2（2020）年度の国勢調査結果をもとに、社人研の「日本の地域別将来人口（2023（R5）年推計）」に準拠した出生、死亡、移動（転出入）の仮定値を設定した本市の推計

#### 【シミュレーション1 】

条件:合計特殊出生率が令和7（2025）年以降 1.27+社会移動率は令和 12 年（2030）年以降に均衡（移動ゼロ）+2030 年度に年少人口 130 人維持

令和42（2060）年 13,540 人

＜図14 伊豆市の人口推計シミュレーション結果＞



項目	R2(2020)年	R7(2025)年	R12(2030)年	R17(2035)年	R22(2040)年	R27(2045)年	R32(2050)年	R37(2055)年	R42(2060)年
社人研推計準拠	28,190	25,583	23,035	20,597	18,265	16,058	14,015	12,148	10,446
シミュレーション1	28,190	25,655	24,036	22,030	20,085	18,237	16,524	14,959	13,540

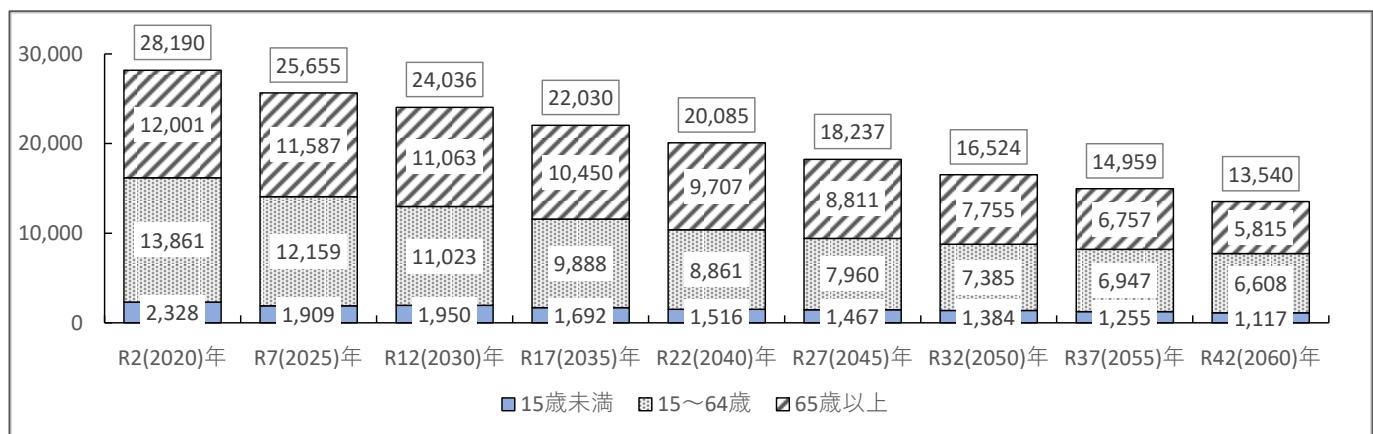
## (2) 地方版総合戦略等の人口対策効果による目標人口

前述のシミュレーション結果を踏まえ、第3次伊豆市総合計画の総合戦略施策に基づく人口減少を抑制する様々な施策の効果により、令和42（2060）年に13,540人の人口を目指します。

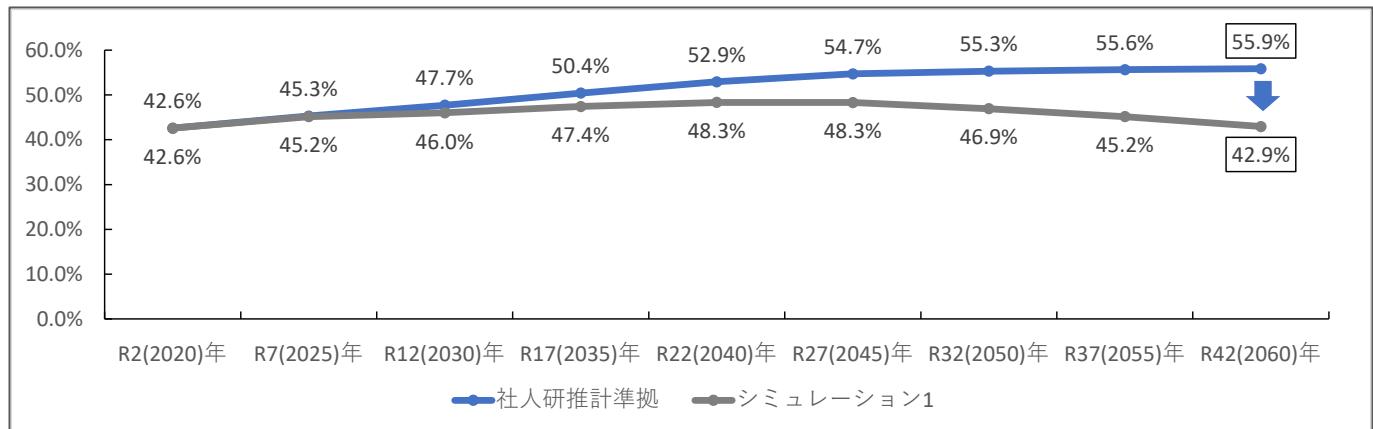
そのためには、令和12（2030）年に社会移動を均衡（転入数＝転出数）にするとともに、出生率については、現状の1.27を維持し、令和12（2030）年に年少人口が130人になることを目標とします。【シミュレーション1の推計結果】

第3期人口ビジョンでは、  
令和42（2060）年に13,540人  
を目標人口として設定します。

＜図15 年齢3区分別 目標人口＞



＜図16 高齢化率の推計 推移＞



### 【高齢化率（人口に占める65歳以上人口の割合）の見通し】

高齢化率は、現在の傾向が継続する場合（社人研推計）、令和42（2060）年に55.9%まで上昇するが、目標人口を達成した場合は42.9%に留めることができる。